

お客様各位

NetIQ(株)Attachmate 事業部

Reflection for Secure IT Windows クライアント 7.2 SP3 リリースのお知らせ

この度 Reflection for Secure IT (RSIT) Windows クライアント 7.2 SP3 を 国内リリースする運びとなりました。以下 その内容と入手方法につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- Reflection for Secure IT Windows クライアント 7.2

[注] : 今回は、RSIT 製品の中で RSIT Windows クライアントのみが対象です。

RSIT Windows サーバ、RSIT UNIX サーバ/クライアントは、既にバージョン 8.0 でバージョンが相違しますが、相互接続性や同一マシンへの混在導入は 問題ございません。

2. 7.2 SP2 からの主な変更点

2.1 サポートプラットフォーム : ~変更はありません。

2.2 新規追加機能

1) SHA-256 デジタル署名(前回 SP2 で追加)の対応を強化

- a) OpenSSH(5.9 以降)との相互接続時に対応
- b) x509 証明書 RSA 署名に対応
- c) スマートカード証明書認証に対応

2) 鍵交換アルゴリズムに“DH Group Ex SHA 256”(diffie-hellman-group-exchange-sha256) を追加

3) scp コマンドに -z オプションを追加

(Windows SSH サーバからのファイルダウンロードでワイルドカード(*)指定時に、大文字/小文字の区別を無視するように明示的に指定するオプション)

4) “Reflection 鍵エージェントの”オプションに “SHA1 署名のみを使用”の選択項目を追加

5) 古い HMAC アルゴリズム“MD5”への自動対応を停止

(SHA1 にも未対応の古い OpenSSH(2.4 以前) 接続時は、本 SP3 から明示的に“MD5”を要指定)

6) SFTP GUI リモートホスト側画面にて“詳細”ファイル表示指定時に、接続先サーバが UNIX/Linux の場合には “所有者”, “グループ”名も表示

〈…下記 2 項目は “汎用 Reflection FTP クライアント”機能…〉

7) 接続先“サーバの種類”に “NonStop (Guardian API)”を追加し、HP NonStop サーバに対応

8) TLS バージョン 1.2 に対応

2.3 不具合対策内容

• 下記問題を対策致しました。

- 1) 公開鍵アップロードユーティリティが OpenVMS ODS-2/ODS-5 サーバへの自動登録処理を誤る問題
- 2) OCSP レスポンダにオプション指定“nextUpdate”を未記入時に、証明書失効確認を失敗する問題
- 3) Windows7 の TCP ウィンドウサイズ動的変更による影響により、ファイル転送性能が劣化する問題
- 4) “;”(セミコロン)を含むファイル名称をサーバからダウンロード時にファイル名称が欠ける問題
- 5) Reflection FTP クライアント“Secure Shell”プロパティ“SFTP”欄の [所定の形式によるリモートディレクトリ一覧を使用する]を選択指定時に sftpc.exe が異常終了する問題

2.4 セキュリティの更新

- 1) CVE-2012-2110:「OpenSSL の ASN.1 データ処理時のメモリー破損発生によりサービス拒否攻撃などを許してしまう脆弱性」対応

3. 入手方法 ～ 対象：ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様

- ・「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし、ダウンロード入手下さい。

<手順>

- 1) 「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトへ下記いずれかの方法でアクセス：
 - a) 直接 URL “https://download.attachmate.jp/Login.aspx” を入力
 - b) ホームページ“http://www.attachmate.jp”から [サポート]>[ダウンロードライブラリ]と選択
- 2) 「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」ページにて、“ユーザ名”/“パスワード”を入力
- 3) 「保守の内容」ページにて対象製品の“ダウンロード”をクリック
- 4) 「Reflection for Secure IT Windows Client」ページにて対象“ファイル名”をクリック：
～“Current Product Release”(= 7.2)と“Service Pack or Patch”(= 7.2 SP3)の表が存在します。
- 5) 「ファイル情報とダウンロード」ページにてダウンロード操作：
～“ソフトウェアライセンス使用許諾契約合意”をチェックの上、ファイル名をクリックします。

4. 導入について

- ・7.2 SP3 プログラム“rsitwincli-7.2.3179-sp-w32.exe”は、上書きパッチ形式のプログラムです。
事前に 7.2 又は 7.2 SP1/SP2 が導入済みの環境に上書き適用します。

5. お問い合わせ先

- ・ご不明な点は、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

NetIQ 株式会社 Attachmate 事業部

E-mail : j-info@attachmate.com

以上